

あなたの疑問にお答えします Q & A

Q QRコードは自分でも作れる？

最近、「QRコード」をよく目にします。どういうもので、何の役に立つのでしょうか。自分でQRコードを作ることにはできるのでしょうか。

A 「QRコード」は、白黒の点が散りばめられた正方形のマークです(図1)。会員カード、商品の包装、カタログ、航空機のチケットなど、さまざまな場所・場面で目にします。もともとは自動車部品メーカーであるデンソーの開発部門(現デンソーウェーブ)が、部品工場や配送センターでの使用を目的に開発した、情報を記録する技術です(図2)。

QRコード以前からある技術「バーコード」の場合、横方向にだけ情報を記録します。これに対し、QRコードは縦横の2次元で記録するの

で、より多くの情報を格納できます。QRコードには1~40のバージョン(種類)があり、最新のバージョン40の場合、数字なら最大7089文字、英数字は最大4296文字、漢字・かなは最大1817文字を格納できます。

これだけ多くの情報を小さいマークに記録できるため、さまざまなところで活用されています。例えば身近なところでは、入場券や乗車券、飛行機のチケットに使われています。また、スマートフォンのカメラで読み取って、Webページにジャンプするといった使い方もできます。さらに、工場や倉庫、店舗などでも、商

品の生産・運送・保管・販売などに幅広く活用されています。

QRコードを作成するフリーソフトやWebサービスを利用すれば、QRコードを自分で作ることもできます(図3、図4)。記録したい情報を入力するだけで自動的に作成されるので、難しい知識・操作は必要ありません。例えば、ホームページのURLからQRコードを作成し、名刺などに印刷しておけば、スマートフォンのQRコード読み取りアプリで読み取ってもらうだけで、ホームページを見てももらうことが可能です。

(井上 健語=テクニカルライター)

QRコードは自分で作成できる



図1 日経パソコンのホームページのURL (<http://itpro.nikkeibp.co.jp/npc/>)を記録したQRコード

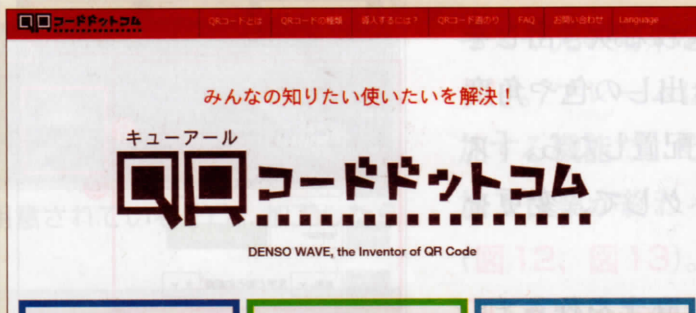


図2 QRコードを開発したデンソーウェーブが運営しているQRコードに関する情報をまとめたホームページ「QRコードドットコム」。なお、デンソーウェーブはQRコードに対し特許権を行使しないと宣言している

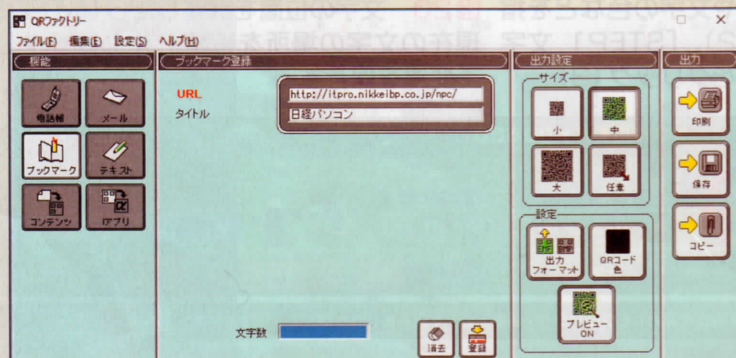


図3 NTTドコモが無料で提供しているQRコード作成ソフト「QRファクトリー」。記録する情報を指定してサイズや色を指定し、画像として保存したり、印刷したりできる

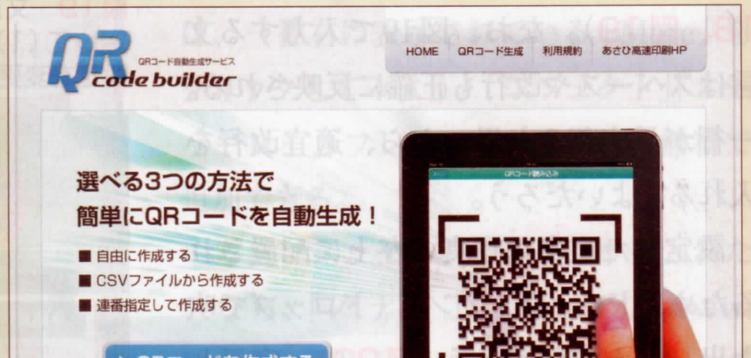


図4 WebブラウザだけでQRコードを作成できるサービスもたくさんある。画面はあさひ高速印刷が提供している「QRコードビルダー」(<http://qr.ag-media.jp/>)